

2018 高トピックス

～11月～

☆ブラインドサッカー体験☆ ～日本代表強化指定選手がやって来ました！～

11月7日(水)、3年福祉科の授業に、日本ブラインドサッカー 日本代表強化指定選手の寺西一選手と日本ブラインドサッカー協会の小島雄登さんが来てくれました。

…とは言え、ブラインドサッカーをいまひとつ知らない生徒達。今回はブラインドサッカーの特徴と、プレーにつながる基本の動作を教えてもらいました。

まずプレー中のボールは転がるとシャカシャカと音が出るボールを使用。選手達は、その音の方向と味方の指示の声を頼りにプレーをします。



「二俣川看護福祉高等学校へ
ようこそおいで下さいました♪」

🏆 デモンストレーション 🏆



初めに寺西選手のデモンストレーションを見せてもらいました。目標となるボールを小島さんが音を出して、寺西選手に位置を知らせます。

蹴られたボールは見事命中！更にその後も、小島さんから返されたボールに反応し、まるで見えているかのような扱いをしている足さばきに生徒達も感動していました。

🏆 真っすぐ歩けるかな 🏆



あて回してセンターへ...

体験中は公式ルールでも義務付けられているアイマスクを着用。手を鳴らす友達に向かって歩くことさえも恐々。

お題に合わせたグループ分け(◎血液型や誕生日)では、互いの声やコミュニケーションだけが頼りの中、迷子が続出。

🏆 いざ 体験☆ ポール当て 🏆



サポート役が、どう掛け声で誘導するのかもキーとなってきます

私達が日頃何気なくしている動作も、視覚障害者の方にとってはスムーズに理解しづらいことがあります。行動手順を教える時には、どのように《言葉で》伝えてあげるかが大切です。相手の声に耳をすませたり、声をかけるタイミングだったり…思いやりある行動を今一度振り返る体験が出来ました。